

日本股関節学会関節温存治療症例データベース構築 に関する研究

1. 試料・情報の利用目的及び利用方法、期間

- A) 目的：股関節温存治療に関する大規模データベースの構築
- B) 方法：患者さんのデータを符号化の上、データ登録機関で情報をフォームに記入し、データセンターに郵送し登録します
- C) 期間：研究機関長の許可日～2030年3月31日

2. 利用又は提供する資料・情報の項目

骨盤骨切り、大腿骨骨切り

- A 基本項目
施設名, 加工 ID, 手術日, 患者生年月日, 患者性別, 身長/体重, 手術時間, 出血量, 術者氏名
- B 診断に関する項目
- C 手術手技に関する項目
- D X線計測 に関する項目 (術前 臥位)
- E X線計測 に関する項目 (術後 3 週以内 臥位)
- F 術後リハビリ に関する項目
- G 周術期合併症 に関する項目
- H 転記に関する項目

上記以外の手術は順次、関連学会（日本整形外科学会、日本小児整形外科学会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会等）と協議の上で追加します。

3. 利用する者の範囲

- A) 登録されたデータを利活用して医学研究を実施する際には、日本股関節学会が審査の上、日本股関節学会員又は関連学会員が利用します
- B) 登録されたデータを提供することに特段の理由があるとき、あるいは社会的に重要性の高い研究に用いられる場合に、日本股関節学会が審査の上で、他の営利団体、民間の機関に提供されることがあります。

4. 情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

- A) 一般社団法人 日本股関節学会
- B) 日本股関節学会関節温存治療レジストリ委員会 委員長：高尾 正樹

5. 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する。

6. 研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

A) 受付先

昭和医科大学医学部整形外科学講座

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 Tel 0.-3784-8543

吉川 泰司 (准教授)

B) 受付方法

直接お電話をいただくか、登録データ削除申請書をご送付ください。

その他ご不明な点がある場合は、上記受付先へお問い合わせください。

7. 共同研究機関及び研究責任者

- 横浜市立大学 整形外科・稲葉 裕
- 金沢大学 整形外科・加畑 多文
- 金沢医科大学 整形外科・兼氏 歩
- 大阪大学 整形外科・濱田 英敏
- 宮崎大学 整形外科・帖佐 悦男
- 九州大学 整形外科・中島 康晴
- 川崎医科大学 整形外科・三谷 茂
- 広島県立障害者リハビリテーションセンター 整形外科・安永 裕司
- 福岡大学 整形外科・山本 卓明
- 愛媛大学 整形外科・高尾 正樹
- 名古屋大 整形外科・竹上 靖彦
- 佐賀大 整形外科・藤井 政徳
- 東京大学 整形外科・田中 健之
- 旭川医科大学病院・伊藤 浩

- 埼玉医科大学病院・渡會 恵介
- 北水会記念病院・平澤 直之
- 獨協医科大学埼玉医療センター・神野 哲也
- 昭和医科大学病院・吉川 泰司
- 北里大学病院・福島 健介
- 山口大学病院・坂井 孝司
- 琉球大学病院・仲宗根 哲

8. 本研究における資金源と利益相反について

本研究を実施する資金は日本股関節学会より提供されます。

本研究における研究者の利益相反については、昭和医科大学利益相反委員会において、適切に管理され、公正な研究を行うことができると判断を受けたうえで実施しています。また、学会発表や論文公表に際しても、利益相反に関して公表し、透明化を図ることとしています。